

北海道ニセコ高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和6年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 農業クラブ3大事業への積極的な取り組みを促す。 (2) 個に応じたキャリア教育の充実を図る。 (3) 資格取得の充実	A	(1) 各行事に向け、学習会を充実させる。 (2) 地元産業現場と連携したキャリア教育を展開する。 (3) 各教科における資格取得を推進する。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) ニセコ町が取り組むSDGs 未来都市としての活動を学ぶ。  (2) グローバル人材育成教育の充実	A	(1) 学校内のSDGs の活動や、持続可能な観光の取り組みを農業クラブから町内へ発信する。また、自分たちが取り組める活動を学ぶ。 (2) 国際交流員による講話を実施し、国際感覚を養う。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 地場産業を支える取り組み (2) 地域の主要農産物の栽培課題を発見し、解決に向けたプロジェクト学習の実施	B	(1) 地域農家、地域ホテルでの実習を実施する。 (2) JAようてい、地域農家、酪農学園大学と連携し、サツマイモやホワイトアスパラガスの生産課題解決に向けた栽培を実践する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域農家、有機ワインブドウ農家での視察実習と農業実習 (2) 地元6次産業との連携	A	(1) 年4回の農業実習への参加と視察実習を行い、ニセコにおける有機栽培の実際を学ぶ。 (2) 町花であるラベンダーを活用し、地域企業と連携して開発したジンなどを国内外の方々に提供する。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 小樽開発建設部後志中部農業開発事業所と連携した「環境に配慮した農地開発」の学習により、持続可能で創造的な農業を学ぶ。 (2) エネルギー教育の充実	A	(1) 1年生を対象に年2回の特別講義を実施する。農地開発の現場視察と、環境に配慮した農地開発についての講義を行う。 (2) 町役場企画環境課と連携し、エネルギー教育を実施する。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) ニセコ町教育委員会・CS委員会と連携した食育交流・菜園交流 (2) 国際交流員との食文化交流	A	(1) 地域の幼児センターとの交流学习を実施する。 (2) 東アジア・北米・オセアニアからの国際交流員の方たちとの食文化交流授業を実施する。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) DXハイスクールの取組推進	A	(1) データやAIを活用して地域農業課題の解決方策を探究する「起業家教育」を試行・研究する。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 実習に関わる安全教育の徹底  (2) 実習中の災害への備え	A	(1) 実習服・帽子・長靴・軍手などの着用と怪我・熱中症対策を徹底する。 (2) 農場実習中の地震・原発事故への備えを徹底する。